

研修レポート 9月

志水 慈子

I 自己紹介

広島県の推薦枠より第 44 期日墨戦略的グローバルパートナーシップ研修生として参加させていただいております、志水慈子と申します。県立広島大学人間文化学部健康科学科に在籍しており、大学では管理栄養士になるための勉強をしています。



日墨 45 期参加者 34 名
独立記念塔の前で

II メキシコの気候と治安

メキシコが標高が高いということもあり、1日の中で夏と冬が訪れるような寒暖差があります。朝は10度近くまで冷え込むため厚いジャケットやコートが必要で、昼間は半袖でも生活できるくらい暑くなります。現在、雨季ということもあり夕方には急に1、2時間ほど雨が降りだします。

空気は乾燥しているので洗濯ものもすぐ乾くのですが、夕方の雨を見極める必要があります。毎年11月～4月は乾季、5月～10月は雨期なのでもう少ししたら雨もやみそうです。

心配していた治安ですが、既に日墨生と学校の友人を含めて3名が携帯電話を盗まれる被害にあっており、地下鉄やバスに乗車時は特に注意が必要です。アジア人というだけで目立ってしまうため、外出時はメキシコ人の服装（生足をださず長ずぼんをはくなど）を心がけています。また危険な地域には行かない、初めて行く地域には複数人で行くなど犯罪のターゲットにされないようにしています。

III 学校の様子



私たちが通う CEPE（外国人用語学学校）は、アメリカ大陸で2番目に古い歴史をもち、世界文化遺産にも登録されている学園都市、メキシコ国立自治大学にあります。中心部から地下鉄で約30分で最寄りの駅に到着し、大学構内の循環バスで移動します。必修の語学コース（9段階にレベル分け）の他に文化コースとして伝統舞踊、サルサダンス、映画、料理など多岐にわたるレッスンを受けることができます。6週間が1セメスターとなっており、学期末にはコンピューターによる読み、書き、聞きと教師2人と生徒2人による口語のテストが実施されます。7割に達しないと奨学金が止められてしまい、6割に達しないと次のレベルの授業が受けられないため、テスト前は和やかな雰囲気から一変、生徒たちは机にかじりつきます。平常点が20点、期末テストが80点（口語20、作

文 15、文法聴解 45) とテストの比率は大分高いので、テストに向けてしっかり勉強する必要があります。去年参加者は約半数の方が奨学金を止められてしまったそうなので、気を引き締めて勉学に励みたいと思います。

必修の語学コースは 10 人前後の生徒で構成されており、私のクラスは韓国人とアメリカ人とナイジェリア人が一人ずつ、そして中国人が大半を占めています。CEPE 全体としては日本、韓国、中国からの生徒が多く、次にヨーロッパ系の生徒が多い印象を受けました。

この度 1 年間レポートを書かせていただくため、毎月出会ったメキシコの名物料理と訪れた観光名所を簡単にご紹介していきたいと思います。

今月のメキシコ料理

①タコス



メキシコのソールフードといえばこれ！トルティージャの上に牛肉や豚肉を乗せたもので、半分に折ったり丸めたりして食べます。炒めた玉ねぎやサボテン、豆、米、パイナップルなどトッピングはお店によって異なります。最後に緑か赤の辛いタレをかけたら出来上がり。お肉のジューシーさとサボテンの酸っぱさ、そしてタレの辛さが相まってメキシコ人の胃袋を驚愕みにして離しません。因みに日本だとケバブ屋の象徴ともいえるお肉の塊はパストールという名前です、炙りながら削り落としていきます。このお肉は 1 日で使い切らないといけないため、塊が大きい店程人気がありよく売れている証拠なので、塊が大きいお店ならはずれなしです。



町のあちこちで屋台がありますが、1 個あたり相場は 15 ペソ (90 円程) です。プラスチックのお皿にビニール袋を被せた簡易的なお皿に、1 分も待たずに出てきます。



今月のメキシコ観光地

①サテリテ・タワー

メキシコの象徴的なモニュメントであり 1958 年に完成したタワーです。交通量の多い幹線道路に突如現れるモニュメントは圧巻でした。ハリスコ州に生まれプリツカー賞を受賞したルイス・バラガンの代表作品です。

